

情 報 公 開 文 書

研究の名称	原因不明消化管出血の原因探索
整理番号	R2020031
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	光学医療診療部 藤浪 斗
研究の概要	<p>【研究対象者】 2004年7月より2027年3月までに富山大学附属病院において小腸内視鏡検査・治療を受けた方を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 小腸は暗黒の臓器と言われ、いまだに原因が不明の疾患もあります。今回原因不明消化管出血の原因について、患者さんの基礎疾患や内服薬と消化管出血、特に小腸出血との関係性を調べるためにこの研究を行います。 この研究で集められたデータを分析することで以下のことを明らかにすることを目的としています。</p> <p style="padding-left: 2em;">原因不明消化管出血の診断率 抗血栓薬と消化管出血の関連 出血を認めてから診断までにかかった期間 小腸出血と診断された患者が小腸以外の出血であった理由 小腸出血に対する治療内容と効果</p> <p>【研究の方法】 当院の内視鏡システムから別途定める項目を抽出し、匿名化された状態でデータベースを構築し、各種分析を行います。</p> <p>【研究期間】 2020年5月11日 ~ 2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究にあたっては、個人を特定できないように個人情報や削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に用いる試料・情報は、検査日、年齢、性別、抗血栓薬、喫煙・飲酒歴、検査目的、治療目的、内視鏡の機種、前処置の種類、観察範囲、検査時間、検査偶発症、採血検査結果、病理検査結果、などです。 ・他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301

FAX 076-434-5027

E-mail haruka52@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 富山大学附属病院 光学医療診療部 藤浪 斗